



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取県国際交流財団

とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN / 鳥取国際通讯

No. 106

June 2013



写真 ウスベンスキー教会【ロシア連邦ノハバロフスク】

Contents 目録

平成25年度財団の主な事業の紹介 02-03
Main Projects for 2013
平成25年度財団的主要事业介绍

世界に広がるとっとり 04
Regions in Exchange with Tottori
与鸟取有交流的区域

米国バーモント州高校生の受入報告 05
Report on Hosting of Vermont High Schoolers
与美国佛蒙特州高中生的交流报告

鳥取に新しい風を 06
Tottori in a Different Light
鸟取新风格

JICAデスクより 06
The JICA Desk
JICA的办事处

海外レポート 07
International Report
国外报告

英語版・中国語版ダイジェスト 08-09
Information in English and Chinese
英文版文摘・中文版文摘

情報掲示板 10
Notice Board
信息布告栏

平成25年度財団が実施する主な事業

今年秋のロシアへ とっとり国際塾



国際交流・協力に関心のある県民の方であれば、どなたでも参加できます。

【とっとり国際塾って?】

鳥取県と関係のある国からひとつの国を選び、その国の社会・歴史・文化等について講座で学びます。その後、住民との交流や関係機関・施設の視察などを通じてよりその国への理解が深まるよう、スタディツアーで実際に現地を訪問します。平成25年度は、ロシアがテーマです。

流れ

公開講座 (3回)

3回の講座ではロシアにゆかりのある講師をお招きし、ロシアの文化や経済における歴史的背景などをお話いただきます。

公開講座のみの参加も可能!

スタディツアー

講座で学んだ内容をもとに、ウラジオストク・ハバロフスクを訪問予定。研修や意見交換などを通して現地の人々と交流をします。

予定
9/17~24
火 火

帰国報告会

スタディツアーでの体験や現地の様子を県民の方々へ報告します。

公開講座 **参加無料** 事前に参加申込をお願いします

第1回 公開講座	7月20日(土) 13:30~16:00 米子市ふれあいの里 中会議室	講演 森永 貴子氏 (立命館大学准教授) 「毛皮が結んだ北太平洋世界」 ● フリートーク とっとり国際塾コーディネーター リー・ヴァチェスラフ 県国際 交流員 「遠くて近いロシア」
第2回 公開講座	8月3日(土) 13:30~16:00 県立図書館大研修室	講演 沼野 恭子氏 (東京外国語大学教授) 「ロシア文学の恋愛と料理」 ● スタディツアー説明会
第3回 公開講座	8月17日(土) 13:30~16:00 県立図書館大研修室	講演 山本 千津子氏 (鳥取環境大学ロシア語非常勤講師) 「私の見たロシア、ロシアの人々」 ● ワンポイントロシア語講座 とっとり国際塾コーディネーター リー・ヴァチェスラフ 県国際 交流員

第2回公開講座

NHK語学番組
「テレビでロシア語」
でお馴染み



沼野 恭子氏
講師

「ロシア文学の恋愛と料理」

「食は文化を映す鏡である」との言葉どおり、人間生活の基本である食文化に着目し、ロシアの食文化の多彩さ、「ロシアらしさ」に文化的・歴史的に迫っていきます。複雑で大きく謎めいていると言われる「ロシアの謎」を食文化という観点で解き明かす、その謎解きの手際やいかに?!

プロフィール

東京外国語大学ロシア語学科卒。東京外国語大学教授。ロシア文学者・翻訳家。主な著書・訳書に「アヴァンギャルドな女たち〜ロシアの女性文化」「ロシア文学の食卓」「世界の食文化@ロシア」(共著)「トゥルゲーネフ」(初訳)(新訳)など。専門領域はロシア近現代文学。近年はロシア文学における食文化について紹介している。

「とっとり国際塾」で これまで訪れた国

- ブラジル・パラグアイ [平成14年度]
- 米国 [平成15・16年度]
- 韓国 [平成17年度]
- 台湾 [平成18年度]
- オーストラリア [平成19年度]

そして平成25年度は...

ロシアへ

ウラジオストク

ハバロフスク
Russia
ウラジオストク 鳥取県

【ウラジオストク、ハバロフスクってこんなところ】

ロシア極東地方東南端に位置する沿海地方、その州都であるウラジオストクは、海に囲まれた美しい港町として有名です。境港市からウラジオストクまでDBSフェリーが定期的に出航し、米子空港からは韓国の仁川空港を経由してウラジオストクまで飛行機で行くこともできます。ハバロフスクはアムール川沿いにあり、緑に囲まれた美しい公園も多く見られる、ハバロフスク地方の州都です。



山陰・夢みなと博覧会 記念基金活用事業

【より利用しやすい制度になりました】

民間団体等が行う県民参加型の国際交流活動、及び県内の学校の海外教育旅行に対して助成を行っています。国、県、市町村の助成の併用も可能です。平成25年2月より、民間団体等が実施する国際交流事業を対象に、パスポート取得費用1人あたり5千円の支援の追加、米子-ソウル便及び境港を発着とする環日本海定期貨客船を利用する場合の海外渡航費の補助率を3分の2に引き上げました。

出前講座 【ご利用ください】

～財団が講師を人選し、謝金と交通費を負担します～
「多文化共生出前講座」-皆さんの地域で開催される多文化共生や人権をテーマとした研修会やセミナーに講師を紹介しします。

「ホームステイ受入説明会」
-海外からのゲストを家庭に迎えるホームステイ事業を実施される主催者が、受入家庭を対象に開かれる説明会に、受入経験が豊富な講師や相手国の文化や習慣に精通した講師を紹介しします。



多文化共生出前講座

日本語を教えるための講座開催

財団では、生活に必要な日本語を学ぶクラスを開き、在住外国出身者の日本語学習支援を行っています。毎年、日本語教育に関心のある方々を対象に講座も実施していますが、今年度は、近年増加している外国出身児童生徒が、安心して新しい環境に適應できるよう、子どもの視点に立った日本語指導法について学ぶ講座を8月に開催します。

東部
8月10日(土)
さざんか会館
第1会議室
13:30~16:30

西部
8月11日(日)
米子コンベンションセンター
第7会議室
13:30~16:30

【講師】

公益社団法人国際日本語普及協会
(AJALT)所属

たけとし みちこ
竹歳 三千子 氏

小・中学校における外国籍児童生徒の日本語指導、年少者対象の教え方講座等を担当



日本語ボランティア研修会

通訳ボランティアの派遣

【ご依頼ください】

病院での診察や保健機関の検診の際に、また、市役所での手続きや、学校・保育園での面談の際に、言葉のサポートをする「医療通訳ボランティア」と「コミュニティ通訳ボランティア」の派遣を行っています。県内在住外国出身者、医療・保健機関、学校や行政機関からの依頼に応じて派遣します。



募集中 子どものための 異文化理解体験講座

小学生を対象に外国出身講師のもと、外国の生活や文化を学んだり、歌やゲームなど外国の遊びを体験したりする講座を開催します。一般に参加者を募る一般募集型と、地域の小学校に講師を派遣する出張型があります。

出張型の実施校を現在、募集中です。9月~12月の平日の授業時間内に講師を派遣します。国際理解学習にぜひご活用ください。

【応募締め切り】

8月20日(火)



子どものための異文化理解体験講座

国際交流コーディネーター

曜日によって、アメリカ(本所のみ)、中国、台湾出身のコーディネーターが在席しています。英語や中国語のチャット、各国の情報収集などにお役立てください。在住外国出身者の日常に関する相談も受け付けています。また、県内の学校や民間団体が主催する国際交流・理解講座に、講師として派遣しますのでご相談ください。

新規 外国人のための 防災セミナー



昨年度より、在住外国出身者のための「やさしい日本語版・防災ハンドブック」を作成・配布、また防災・安全に対する意識の啓発となる情報もメールマガジンで配信しています。今年度は、防災に関する知識を身につけることで、災害時に自分自身や家族を守る行動がとれるよう「防災セミナー」を開催します。消火訓練や起震車による地震の揺れの体感など、実地体験を通して防災について考えます。日程は決まり次第財団のホームページやメールマガジンでお知らせします。

このほかにも財団では県内の国際化の推進のために、様々な事業を行っています。詳細はお気軽にお問い合わせください。

財団HP

<http://www.torisakyu.or.jp>

(各事務所の連絡先は最後のページをご覧ください。)



世界に広がるとっとり!

鳥取県は、日本海に面し北東アジアに近いという地理的な特性を活かし、対岸諸国の各地域（韓国江原道、中国河北省・吉林省、モンゴル中央県、ロシア沿海地方・ハバロフスク地方）との交流を中心に、台湾、ブラジル、米国等の地域と多様な分野での交流を進めています。また、鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県の首長が一堂に会し、毎年開催される北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットでは、各地域の共同発展や繁栄を話し合っています。

更に、境港や米子鬼太郎空港を拠点として北東アジア諸国に加え、東南アジア諸国との積極的な物流・観光の振興を目指す「北東アジアゲートウェイプラス」を展開します。

鳥取県の国際交流の現状

ロシア【沿海地方】

1991年以来、スポーツ・文化と様々な交流を推進し、2010年にはウラジオストク市内に「ビジネスサポートセンター」を開設し、県内企業のビジネス支援の礎を築きました。昨年度は、青少年柔道交流団が来県しました。



沿海地方青少年柔道交流団

ロシア【ハバロフスク地方】

2010年以来、様々な交流を推進しており、昨年度は、ハバロフスク国際見本市に出展し、現地において鳥取県の魅力を紹介しました。

韓国【江原道】

1994年以来、文化・スポーツ・教育等様々な分野にわたる交流を推進しています。2011年には、鳥取環境大学と江原道立大学との学術交流が始まり、昨年度は国際マンガサミットに道代表団が参加し、PR活動を行いました。来年は、交流20周年の節目の年であり、様々な記念行事を行います。



鳥取環境大学と江原道立大学との学術協定締結式

モンゴル【中央県】



鳥取県・モンゴル中央県友好交流15周年記念事業

1997年以来、農業・医療・行政分野における専門家等の派遣・受入れを中心に交流を推進しています。昨年度は、友好交流15周年を迎え、県内において日本とモンゴルの双方の文化に親しむ記念行事を実施しました。

中国【河北省】

1986年以来、文化・芸術など様々な交流を推進し、この友好のシンボルとして県中部に中国庭園「燕趙園」が建設され、主要な観光施設となっています。2011年には、県、県議会、県日中友好協会等の訪問団が河北省を訪れ、友好提携25周年事業に参加し友好を深めました。

中国【吉林省】

1994年以来、青少年・文化・芸術・経済等幅広い分野での交流を推進しています。昨年は、米子東高校ダンス同好会が北東アジア国際青少年芸術祭に出演する等青少年間の交流が深まっています。来年は、交流20周年の節目の年となります。



米子東高校ダンス同好会

台湾【台中市】

梨の穂木輸出から交流が始まった台中市とは、双方隔年で青少年を派遣する事業を通して友好を深めています。昨年は、台中市において「まんが王国とっとりフェスタin台中」を開催し、観光・県産品のPRなどを行いました。



台中市石岡国民中学での交流の様子

太平洋を渡るとっとり

ブラジル

明治期以降鳥取からブラジルに移住した方々の子弟から成るブラジル鳥取県人会との交流や第二アリアンサ鳥取村への日本語指導員の派遣等を行っています。ブラジル在住の本県出身子弟を研修員・留学生として受け入れるなど、故郷鳥取を知り、親しみを抱いていただける事業を行っています。

米国【バーモント州】

2008年以来、高校生による相互交流事業を推進しており、今年4月にはバーモント州より高校生交流団が初来県を果たしました。



大交流時代へ 北東アジアゲートウェイプラス

北東アジアゲートウェイプラスって？

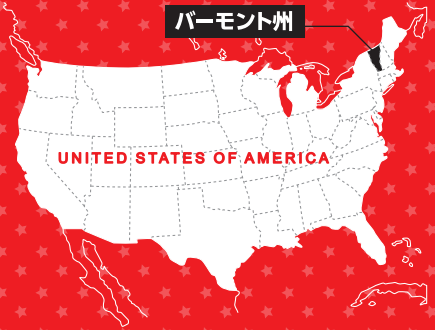
鳥取県は、米子・ソウル国際定期便や環日本海定期貨客船を活用し、北東アジア諸国との物流や観光促進を図る「北東アジアゲートウェイ」事業を行っています。そこに、東南アジアという視点を加え、東南アジアの近年著しい成長力を取り込み販路拡大

と県内産業の体力強化を図ろうというものです。

今年は、県内企業の販路・受注拡大を支援し、県の観光情報等を発信するためタイ王国バンコク市に拠点を設置します。これらの拠点整備から新たな民間交流へと繋がっていくことを期待しています。

鳥取県 バーモント州 青少年交流事業

米国・バーモント州から11名の高校生が鳥取にやって来ました



当財団では米国・バーモント州へ県内から選抜した高校生を派遣し、現地の高校生等と交流する事業を毎年行っています。相互派遣プログラムを目指し、過去に鳥取県からの派遣を4回行い、今年4月にはバーモント州から高校生が初めて実現しました。9日間の鳥取滞在中、県内の高校生と交流をしたり、環境学習を目的とし風力発電所やリサイクルセンターなどの施設を視察しました。また、ホームステイを通し日本の日常生活にも触れました。

鳥取西高校



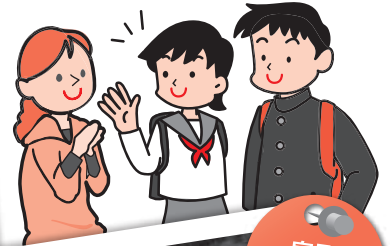
日本の高校生と一緒に授業やクラブ活動に参加。

鳥取大学 乾燥地 研究センター



ドーム型のガラスの温室で、乾燥地域での水の供給方法についての説明を受けました。

こんな体験・交流をしました!



鳥取環境大学



容器に土や草木、虫を入れ小さな生態系「ミニ地球」を作成。

米子工業高等専門学校



エコライダー（風力で発電して点灯するLEDライト）を作成。

湯梨浜学園



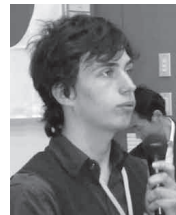
折り紙や福笑いなどの日本の遊びを体験。

バーモント州生徒の感想



リサ チェン
Lisa Chen さん
日本語を勉強中の18才

鳥取に着き、まず驚いたのは鳥取とバーモントは似ているところがたくさんあることでした。例えば小さな県/州であるところや天気が変わりやすいところです。雨が降っていても5分後にはすっかり晴れています。他にも緑が多いところ、どこへ行っても山と海が見え景色がとても美しいところも似ています。まるでバーモントにいるみたいだ!と感じました。そして視察を通し、鳥取の人々は環境保護意識が高く、環境保護のためにとても努力していることが分かりました。バーモントの人々も鳥取から学ぶべき点がたくさんあると感じました。



アロン ワグナー
Aaron Wagner さん
合気道・日本語・料理もできる18才

鳥取では、フレンドリーで思いやりにあふれる人に多く出会いました。特に同世代との交流が印象的でした。鳥取西高校では、生徒たちによるキャンパスツアーがあり剣道部や弓道部の練習を見学、図書館では「英語の本」コーナーを見つけました。高校訪問でアメリカと日本の学校の似ているところ、また、違うところを発見でき面白かったです。何より、ゲームや自転車ツーリングを一緒に楽しんだり、日本語や英語でたくさん話せたことで友情も深まりました。忘れられない1週間になりました。

次は

鳥取県内の高校生・高等専門学校生がバーモント州へ!

●平成25年度派遣事業について

【派遣期間】10月下旬～11月上旬（12日間程度）

対 象 県内の高校及び高等専門学校に在籍する1,2年生

応募期限 各学校で決められた応募期間に従ってください。

応募方法 県内の高校、高等専門学校を通して募集

派遣人数 15人 詳しくは、当財団本所へお問い合わせください。